総合計画実施計画改定案（変更）

◆ 現況・課題、取り組み

No.	現況・課題	取り組み
1	<p>社会情勢や家庭、地域を取り巻く環境の変化などにより、保育や子育ての支援を必要とする児童や子育てに不安や負担を感じている保護者は増加している。</p> <p>従来の保育システムだけでは対応しきれないケースが多くなっており、幅広いニーズに対応できる体制を築く必要がある。</p> <p>子育てに関する相談について、子育て支援センター*や母子保健の健診等様々な場や機会を提供し、その中での問題を共有し、児童虐待防止やその他の問題解決を進めていく必要がある。</p>	<p>★子育てに関する情報の一元化、総合化を行い、子育て情報の提供を充実させる。</p> <p>・支援を必要とする人の個々の実情を踏まえて、保育所や放課後児童クラブ*などのほか、一時預かりを含む一時保育の実施、ずしファミリー・サポート・センター*事業等を実施する。</p> <p>・ほっとスペース*、親子遊びの場など親子が自由に利用でき、集える場を確保する。</p> <p><u>・様々な保育ニーズに対応するため、駅前等交通の利便性の高い地域で保育関連事業の実施を検討する。</u></p>
2	<p>子どもたちが地域社会でいきいきと活動できるように、地域社会に中学・高校生を含む子どもの居場所を確保するとともに、自主的な活動を支援することが求められている。</p>	<p>★中学・高校生については体験学習施設「スマイル」*を拠点に、様々な講座やイベント等の企画運営ができる体験学習施設の企画運営委員会を設置し、子どもの居場所をつくるとともに、地域でいきいきと活動できるように支援する。</p>
3	<p>妊娠中から乳幼児期、思春期に至るまで母子ともに健康な発育・発達を支援する必要があり、特に近年増加傾向にある虐待の予防を含めた育児支援の充実が求められている。</p>	<p>虐待予防を含めた育児相談や教室、健康診査、訪問活動などの充実を図る。</p>
4	<p>保育所入所待機児童が増加している中で、2015（平成27）年度から子ども・子育て支援の新制度が施行されることとなっている。</p> <p>今後は、小学校就学前の児童に、質の高い教育と保育を、希望者全員に提供することが求められている。</p>	<p>各施設の設置主体の意向を尊重しつつ、新制度に位置付けられた、認定こども園*や小規模保育*施設等、多様な教育・保育施設が市内で事業展開されるよう支援し、充実を図る。</p>